

セリ会報告

6月例会は恒例のセリ会でした。初めての試みとして2年後の30周年記念行事の基金捻出の一環として、売り上げの2割の供出をお願いする事としてスタートし、出品減等も懸念されたが、皆様のご協力によりそのようなこともなく、いつもとおりの楽しいセリ会となり基金として¥36,800が計上されました。以下にその内容を報告すると共に携わった関係者の方々に著く御礼申し上げます。次回も又多数の出品を宜しくお願い申し上げます。

番号	出品者	品名	産地	説明	数量	出品者 希望価格	落札価格	
							価格	氏名
1	間野雄次郎	標本箱・特大型		インターガラス蓋式	1	¥1,600	¥1,600	仲西周二
2	間野雄次郎	標本箱・特大型		インターガラス蓋式	1	¥1,600	¥1,600	仲西周二
3	間野雄次郎	ベネゼラ蝶類図鑑 MARIPOSAS DE VENEZUELA by Theophile Raymond		絶版、程度良好	1冊	¥2,000	¥3,000	倉地正
4	間野雄次郎	展翅版・特大、1~4号各1枚、5号2枚、6号3枚合計9枚			1式	¥2,000	¥2,000	池沢隆一
5	仁平勲	書籍、黒山生き物博物記	荏司たか志/山と深谷社		1冊	¥300	¥800	小柴清之
6	仁平勲	フィリピンオビクジャクアゲハ	パラワン島	展翅品	1♂	¥150	¥300	小柴清之
7	仁平勲	ユキワリツマキチョウ	鯉子ツマキ♂・広河原クモツキ♀、飼育、展翅品		1♂	¥100	¥3,000	山田成明
8	仁平勲	アサマシジミ	山梨県都留市十日市場	飼育、展翅品	1P	¥300	¥3,000	中西立郎
9	小柴清之	文庫本、「熱い絹」・上下	松本清張/講談社	キャメロンのネットイミドリがKEYの推理小説	1式	¥200	¥600	朝日純一
10	早坂弘次	バタフライウォッチング"神奈川の蝶"	相模会	相模会発足10年記念出版 定価3000円+税	1冊	¥500	¥500	大島良美
11	倉地正	LOCAL BUTTERFLIES of the San Francisco Bay Area 蝶と食草		吸蜜植物の折りたたみ式フィールドガイド	1冊	¥900	¥900	朝長政昭
12	大島良美	ウスバジャコウアゲハ	オーストラリア産	B級品展翅	1P	¥2,000	¥2,000	池沢隆一
13	大島良美	ノミオンウスバ	モンゴル産	展翅	1♂	¥500	¥1,000	池沢隆一
14	坂本洋典	アントクアリウム(クロクサアリ5匹・ムモンカ幼虫か蛹一個体付るどるふ甲虫採遊記写真集、2005年夏版)	長野県原村	飼育好き御用達、巣を作るのが見れて飽きることが無い	1個	¥700	¥1,800	麻生紀章
15	坂本洋典	モルフォの小さな瓶		個人出版の写真集。甲虫が中心だが美しく見て飽きない。モルフォ種の避色を示す人造オパールを液晶状態で瓶詰したもの。湿度で変色し、毎日違った色が楽しめる。	1冊	¥500	¥1,000	麻生紀章
16	坂本洋典	ポストカード(ツバメシジミ)		青いオス個体が鮮烈に写っています	1枚	¥100	¥100	仁平勲
17	栗石卓	ファルキドンアグリラス	北ブラジル産		1P	¥2,000	¥26,000	山田成明
18	栗石卓	ツマグロキチョウ(オールイエロー)	山梨県産	全面黄色型と正常型各1	2ex	¥1,000	¥3,500	仁平勲
19	栗石卓	ナルキッサアグリラス	北ブラジル産		1P	¥2,000	¥16,000	山田成明
20	栗石卓	クモマツマキ	飯巻温泉産	今年の採集品	1♂	¥1,000	¥3,600	富尾晃正
21	麻生紀章	工芸品	デザイナーの西島桃代さんの作品	着物を染めるための型紙の「稀洗紙」を使った作品	1点	¥4,000	¥4,000	朝日純一
22	山田 厚子	蝶の折り紙	おりがみ作家 細谷純子さんの作品		5つ一組	¥800	¥800	小柴清之
23	山田 厚子	蝶の折り紙	おりがみ作家 細谷純子さんの作品		5つ一組	¥800	¥800	仲西周二
24	山田 厚子	携帯用三角ケース	ボール紙材料による手製		1個	¥500	¥1,000	中西立郎
25	山田 厚子	携帯用三角ケース	ボール紙材料による手製		1個	¥500	¥800	坂本洋典
26	朝長政昭	アカタテハセット	インドネシア産	buana_dejeanii	各2頭	¥500	¥1,000	栗山定
27	朝長政昭	小型ヒョウモン類セット	ヨーロッパ	Brenthis, Clossiana, Melitaea など両者の区別をつけたい方のための基本セット	10頭組	¥500	¥2,000	富永滋
28	朝長政昭	コヒョウモン&ナミヒョウモン	北海道		数量?	¥500	¥700	麻生紀章
29	朝長政昭	クモマツマキセット	ヨーロッパの3種	いい標本じゃなくてm()m	8匹組	¥500	¥2,200	栗石卓
30	仲西周二	ムラクモカンアオイ	奄美大島	南限近くのカンアオイ増殖株、斑入りで美しく専ら観賞用、飼育未使	1鉢	¥1,000	¥1,500	山田成明
31	仲西周二	アワブキ	奥多摩	スミナガシ、アオハセセリが飼育できます。実生苗	1鉢	¥300	¥300	坂本洋典
32	仲西周二	ヒョウモンモドキ越冬前幼虫	広島県	現物は秋口の例会渡し	20+α幼虫	¥1,000	¥2,000	辻元
33	仲西周二	フジミドリシジミ	山梨県 一之瀬	この春の飼育、展翅品	1P	¥1,000	¥2,100	辻元

35	雨宮 範正	ヒメギフチョウ	長野県茅野市	矮小型	1♂		¥500	上原祥幸
36	雨宮 範正	フジミドリシジミ	東京都 高尾山	飼育、展翅品	1P	¥1,000	¥2,100	朝日純一
37	雨宮 範正	ギフチョウ	神奈川県 石砂山	1973年度 飼育 展翅品	1♂	¥1,000	¥2,000	富尾晃正
38	山田 成明	ブルーシジミ7種各2頭:14頭セット	ゴマ=斎藤市、アサマ=群馬高山村+長野北相木村、ミヤマ=上田市、ヒメ=小海町、ヤマト=岐阜区、シルビア=鶴川市、ワヅツ=鹿児島県川内市		1式	¥1,000	¥3,000	中西立郎
39	山田 成明	大きなベニヒカゲ2産地4頭セット	八方尾根2♂、湯沢町かぐらみつまた2♂		1式	¥500	¥1,200	富尾晃正
40	山田 成明	映画「輝ける青春」鑑賞券	岩波ホール、7月15日指定、招待券とか割引券ではなく購入品イタリア映画で6時間の大作、定価¥3300		1枚	¥1,500		
41	池沢 隆一	ヒメシロチョウ	長野県産	春型2♂2♀+夏型4♂	8頭1式	¥500	¥700	山田厚子
42	池沢 隆一	ヒメシジミ	群馬・長野原、新潟・妙高、福島・南安達、長野・東御市産各4頭セット		16頭1式	¥500	¥1,100	坂本洋典
43	池沢 隆一	アサマシジミ	群馬県・長野県産野卵2♂2♀、 同高山村産飼育1ペア展開		6頭1式	¥500	¥1,200	北川朝生
44	池沢 隆一	ベニモンマダラ / ツマグロキチョウ	山梨・梨ヶ原産6頭 / 栃木県産3♂		1式	¥500	¥1,000	富永滋
45	栗山定	オーストラリアヒメアカテハ Vanessa kershawi	自己採集品、入手の確率は少ないと思われる。今展翅してあるのはこの一頭のみ、なげなし!		1頭	¥500	¥1,000	麻生紀章
47	栗山定	ヒメシジミセット	7♂1♀、山形県長井、群馬県長野原、長野県白馬・北相木・茅野		1式	¥500	¥1,200	朝日純一
48	栗山定	かっこいい蝶のセット	ヒメヤママユ2頭(静岡県裾野、長野県高峰)、ギンモンスズメドキ(高尾山)		1式	¥300	¥300	山田厚子
49	朝日純一	2004年極東ロシア・ウスリー産ヒメギフチョウセット(三角紙標本)	Far Eastern Russia; Central Ussuri; Lazovskiy distr.; Partizanskiy range; Benevskaya mts.;		1式	¥1,000	¥5,000	富尾晃正
50	朝日純一	サハリンの2004年野外採集品 蝶類(日本産共通種を中心に)	A~A'(一部A'')合計130頭(概略100♂30♀くらい) A~A-合計130頭(比較材料に豊富)、クモツツマキ、ミヤマモンキ		1式	¥2,000	¥30,000	池沢 隆一
51	北川朝生	ベニヒカゲセット	和賀山塊5産地、焼石連峰5産地 計10頭展翅品			¥500	¥7,000	山田成明
52	北川朝生	ヒメシジミセット	山形県産2005年採集 長井市、日鷹町、天江町、朝日町、飯豊町の5産地各2♂1♀。計15頭三角紙。採れたてです!			¥500	¥2,000	朝長政昭
53	北川朝生	ヨーロッパ産シジミセット	無作為抽出100~150頭三角紙。若干古く1980年代のもので、A~Aマイナー程度			¥500	¥13,000	富永滋
54	北川朝生	書籍: 21世紀に残す「私のコレクション」	(2001)ESI編		1冊	¥500	¥4,200	栗石卓
55	中西立郎	「採れたて・生展翅可能なシジミセット」	芦川村上芦川産新鮮アサマシジミ7頭+(おまけ)北社市須玉町御門産新鮮ヒメシジミ5頭。いずれも、2005年6月18日採		1式	¥500	¥1,200	朝日純一
56	その他						¥17,100	

* 新入会員 (宜しくお願ひいたします)

橋本栄利 〒228-0011 座間市相武台 1-4921-2 カインドステージ 408 号

Tel: 046-256-4176 携帯: 090-5329-4066 会社員 1949.7.7

尚、氏には会のホームページ、サーバ関係の特別なご助力ご協力をいただくという事で会費は免除といたします。皆様のご了承方宜しくお願ひ申し上げます。

* 夏季合宿についてのお知らせ

今年度の夏季合宿は諸般の事情により、採卵会として11月頃行うことになりました。楽しみにしていた方も多く色々ご質問等もあるかと思いますが、企画サイドの手順等もあり、ご期待に添えないことを心からお詫び申し上げます。なにとぞご理解の上、是非採卵会の方への多数のご参加をお願ひいたします。夏季とは又違った意味での楽しみや趣があるかと思っております(温泉つきの声が多数あり、実現濃厚です)

この件につきましては9月のミニたまで別途詳報しますので、宜しくお願ひいたします。

* 会報、NO.47 が発行されます。会員には順次お送りする予定ですが、今年度会費未納者には送付されませんのであらかじめご了承ください。尚、会報の欲しい方は至急会費の納入をお願いいたします。

* 新聞紙上より

輸入ハチから高山植物守れ

北海道
大雪山

野生化した欧州産のハチが、北海道最大の原生自然を残す大雪山国立公園の直近まで分布域を広げている。環境省は「公園内の高山植物が生育できなくなる恐れが高い」として、異例の監視活動を始めることになったが、面積約22万7000㊦もある同国立公園のレンジャー（環境省職員）は5人だけ。このためボランティアにも監視活動の協力を求める。



セイヨウオオマル
ハナバチ

花の根元に穴を開けて「盗蜜」するセイヨウオオマルハナバチ（東大大学院の松村千鶴さん撮影）

25.5.12 読売(19)

「盗蜜」で受粉を阻害

このハチは、トマトの受粉用に輸入されているセイヨウオオマルハナバチ。花の上から入り込むトマト以外の植物では、花の横に穴を開けて蜜を採る「盗蜜」行動をするため、逆に受粉が阻害される。ところが、このハチが栽培ハウスから逃げ出す例が各地で急増。特に北海道内では野外の目撃情報が多く、同国立公園まで十数㊦・以上離れていない東川町でも昨年、野生化したセイヨウオオマルハナバチが見つかり、専門家が「公園内の高山植物は受粉を妨げられ、種子を作れなくなる」と指摘していた。



大雪山国立公園の旭岳山頂を目指し、キバナシャクナゲが咲く登山道を行く登山者。セイヨウオオマルハナバチの分布域は間近に迫っている

しかし、今年6月に施行される特定外来生物被害防止法では、「国内での被害実態が明らかではない」として規制は見送られた。

国立公園での監視活動は今年6月下旬から開始。レンジャーらが公園内を巡回して、国内有数の大規模群落が被害を受ける前にこのハチを発見・駆除する。しかし、広大な大雪山系の監視は5人のレンジャーではできないため、一般市民が登録しているパークボランティア約100人、自然公園指導員約20人にも協力を求め、セイヨウオオマルハナバチの発見に努める。また、北海道庁も道内全域で情報を募るなど、監視体制を強化する方針だ。

たまには五感で触れたい

宮城県・栗駒山の新緑のブナ林を久しぶりに歩き、自然の恵みを改めて感じた。ミズバショウの咲く湿原にわき出る豊富な水、新鮮な空気、土を守るしっかり張った根。様々なモノを供給し、気候や災害を制御する生態系の働きから、私たちの生活は、多く恵を受けている。だが、国連の調査によると、こうした生態系の働きの6割がこの50年間で悪化、将来の世代はその恩恵を受けられなくなるかもしれないという。

健全な生態系を支える重要な要素の一つは、生物多様性だ。生物の種類が多さだけでなく、進化の歴史ではぐくまれた土地に特有な生物や、その個性、生物間の関係性の多様性を評価する考え方が、都会の日常生活の中で、大切なことを実感することは難しい。

自分自身を振り返ってみても、周囲の桜はソメイヨシノばかりで、ハウス栽培の野菜を食べている。虫取りと言ってもセミ取りの経験しかない。その反面、街には世界中の珍しい園芸植物や食材があふれている。

子供たちに今人気の世界的クワガタを対戦させるゲームも、昆虫に興味を持つきっかけにはなるが、自然界ではあり得ない組み合わせの虫同士の対戦は、生物多様性の感覚をマヒさせる恐れもある。

環境は頭の中だけでは理解できない問題が多い。たまには自然に触れ、五感を働かせることも大切だ。(杉森純)



語人声天

去年の5月、東京西郊の公園でチョウチョウをめぐってパトカーが出動する騒ぎがあった▼よく晴れた日の昼前のことだ。数人の男女がそれぞれにカメラを構え、虫や鳥を撮影していた。そこへ保育園児が10人ほどやってきた。「さあチョウチョを捕まえるぞ」。引率の先生の先生が捕虫網を配り始めると、カメラを持った男性が制した。「ここでチョウは捕らない決まりです」▼先生の記憶では、たちまち険悪な空気になった。「何年も前からここで虫を捕ってき」と言う、「羽化したばかりのチョウを捕るのはよくない」と切り返され、口論になったという。撮影の一人が携帯電話で110番に通報し、パトカーが来た。警官は双方から言い分を聴いた。「お気持ちわかるが、お互いもうこの辺で」▼40年前から昆虫の標本作りを教えてきた埼玉県川越市の元教諭、会田富士夫さん(72)にも似た経験がある。数年前、秩父地方で網を手に夫婦で昆虫を観察していたら、後ろでささやく声がした。「あの人、自然を破壊してるのよ」。若い母親がこちらを指さして、子ともに言い聞かせていたという▼たしかにこの時代、花も虫も貴重存在だ。それでも、草木を手折り、虫を生け捕りにするのは、幼い世代の大切な体験だろう。「子どもが採集したくらいで絶滅する昆虫などいません」と会田さんは話す▼言い争う大人を見て、園児たちは虫捕りが嫌になった。網を手に公園へ連れ出そうとする、今でも「またパトカーが来る」と泣く。あの騒ぎが残した傷だろう。

多摩動物公園昆虫園から



02.6.6 朝日

ヤマトゴキブリ 嫌われ者世にはばかる

ゴキブリって、なぜあんなに嫌われるのか。台所の油まみれの暗い所に隠れていて、流しのすき間からいきなり出てきては、お母さんをびっくりさせるし、スリッパでひっぱたこうとしても、なかなか捕まらないからかな。きれいな声で鳴けば、もっと好かれたかも。でも、ヌメヌメした姿とは裏腹に、とても敏感で感受性が強い。長い触角ばかりでなく、お尻から伸びている角毛で空気の動きを察知してしまうのだ。だから人が近づいただけで、サッと逃げてしまう。

とてもすばしこいうえに、平べったくてわずかなすき間にも逃げ込めるし、何でも食べる雑食性だから、3億年も前から生きながらえてきた。熱帯の森の下草の裏から、台所の陰に棲(す)み家を移したけれど、この仲間はこれからも人間よりずっと「長生き」するんじゃないかな。(高家博成)